

特別賞受賞作品の講評・各賞の入賞者の紹介

市長賞



作品名:「ハイブリッドなくつかわかし機」
 作者: 木村賢太郎 さん (合川北小6年)
 講評: 理科教材を再利用し、電池でも太陽光でも使えるくつ乾燥機として生まれ変わったエコとリサイクルを考えたアイデア作品です。ハンダを使って導線がつながれていたり、アクリルボンドで動かないように接着していたりと繰り返しの使用を考えた作品です。



▲市長賞を受賞した木村さん

教育委員長賞



作品名:「かけひもつきティッシュカバー」
 作者: 伊藤那穂 さん (合川小5年)
 講評: 置き場所が定まらずつい探してしまうティッシュですが、ティッシュカバーにかけひもを付けるという単純な発想とホックをつけるという工夫でそれが解消しました。横にしても使えるような工夫があれば使える場所がもっと広がりますね。

議長賞



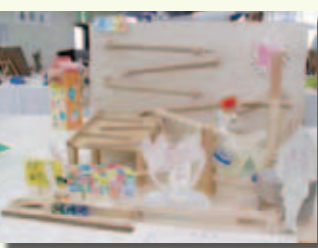
作品名:「ペットぼうき」
 作者: 鈴木杏南 さん (大阿仁小5年)
 講評: ペットボトルを何個も重ね、しっかりと束ねる工夫がされ、普通のほうきより丈夫でこわれにくいつくりになっています。ペットボトル・針金・木と身近で少ない材料をうまく組み合わせ、床によく吸い付くように作っていて実用性の高い作品です。

教育長賞



作品名:「カラフルすなはまどけい」
 作者: 松尾里咲 さん (鷹巣東小1年)
 講評: 2種類の素材を使い、30秒と1分の時間を同時に繰り返し楽しく計ることができます。水色の時計は、ストロー1本では液体は落ちません。ストロー2本使うことで液体の落ちる穴と空気の出る穴になり、うまく落ちていく工夫がされています。

審査委員長賞



作品名:「こびとの森」
 作者: 齋藤友登 さん (合川小2年)
 講評: ビー玉を置くと、斜面をゆっくりジグザグに転がって、シーソーや回転する装置が動きだし、左右、上下、回転と変化に富んだ動きが審査員に好評でした。最後まで目が離せない、見ていて楽しい、またやりたくなる作品です。

◆金賞(8点)

- 秋元 ゆい さん (鷹巣東小6年)
- 藤嶋 智勇 さん (合川北小5年)
- 辻 永純大 さん (合川北小4年)
- 村上 日和 さん (鷹巣東小3年)
- 成田 翔 さん (鷹巣小2年)
- 高橋 龍弥 さん (鷹巣南小2年)
- 佐藤 聖和 さん (合川北小2年)
- 池田みのり さん (合川北小1年)

◆銀賞(16点)

- 三澤 直威 さん (綴子小6年)
- 山田 謙二郎 さん (鷹巣南小6年)
- 鈴木 誠也 さん (合川小6年)
- 平川 歩未 さん (合川小6年)
- 五代 儀雅妃 さん (鷹巣小5年)
- 宮野 星名 さん (綴子小5年)
- 千葉 駿太 さん (鷹巣南小5年)
- 岩本 真菜香 さん (鷹巣南小4年)
- 佐藤 麟太郎 さん (鷹巣南小4年)
- 疋田 航 さん (鷹巣東小3年)
- 伊東 穂華 さん (合川小3年)
- 杉 渕 柊平 さん (合川北小3年)
- 村 上海都 さん (鷹巣東小2年)
- 高橋 愛莉 さん (綴子小2年)
- 新林 理翠 さん (綴子小1年)
- 近藤 柚葉 さん (鷹巣中央小1年)



▲今年の発明工夫展で入賞した子どもたち

子どもたちのアイデア作品がいっぱい

第8回北秋田市発明工夫展

第8回北秋田市発明工夫展の表彰式が9月9日、中央公民館で開かれ、入賞した子どもたちに表彰状と記念品が贈呈されました。今回は市内の11小学校から、過去最高の91点の応募があり、そのうち29人が市長賞をはじめ各賞を受賞しました。

表彰式では、市教育委員会の工藤正則教育次長が「出展された作品をひとつひとつじっくり見てみると、皆さんの工夫や苦労、あるいは家族の色々な思いが目に浮かび、大変ほえましい思いがします。アイデアが見つ

かったら、お家の人とよく相談しながら大きく膨らませ、来年もこの発明工夫展に挑戦してほしい」などとあいさつ。

このあと、市長賞、教育委員長賞、議長賞、教育長賞、審査委員長賞の特別賞5人、金賞8人、銀賞16人の入賞者に表彰状と記念品が手渡されました。

寺田博明審査委員長(鷹巣東小学校校長)は、特別賞を受賞した5人の作品を紹介しながら、「審査は、アイデアや工夫があるかどうか、子どもらしい思いつきがあるかどうかを見ました。ここにいる皆さんをはじめ、91人の作品はどれも素晴らしいものでした。毎日の生活の中で、不思議だなあとか、これ面白いなあとかというものを、もっと見つけてほしいと思います」などと講評しました。特別賞を受賞した5人の作品は、11月10日から11日まで秋田市にぎわい交流館で開かれる、第61回秋田県発明展の児童・生徒の部に北秋田市代表として推薦されます。